

学生の将来に役立てて

サンライズ
産業が寄付 弘大図書館へ100万円



目録を手渡す工藤代表取締役(右)と、
受け取る佐藤学長(中央)、郡館長

貨物運送や倉庫業、不動産業などを手掛けるサンライズ産業(本社弘前市、工藤博文代表取締役)は15日、弘前大学附属図書館に100万円を寄付した。工藤代表取締役は弘大の卒業生で、今年で同社が創立30周年の節目を迎えた記念の社会貢献の一環として、母校の図書館に寄付した。寄付は10年間、毎年100万円ずつ続ける予定。寄付金は、青森の郷土や、人材育成に関する資料の購入費に充てる。

同日は弘大創立50周年記念会館で寄付金目録贈呈式が行われ、工藤代表取締役と尾崎善造参与が訪問。弘大側からは佐藤敬学長、大河原隆理事、郡千寿子図書館長が出席した。佐藤学長は「図書館を整備して、学生のために役立てたい」と謝辞を述べ、工藤代表取締役は「10年間寄付を続けることで、創立40周年までの目標にもなる。(寄付金で購入した)資料に学生が触れ、将来頑張ってもらえれば」と期待した。(成田真矢)

※この記事は陸奥新報社の提供です。
この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。
転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。
[問い合わせ先]
弘前大学研究推進部学術情報課
jm3152@hirosaki-u.ac.jp